

そばイベント

天野の里で収穫したそばを使い、手打ちそば体験やそばのお菓子（団子、ドーナツ等）作り体験が楽しめます。



冬

初詣

お正月には、丹生都比売神社は初詣でたいへん賑わいます。



御田祭

五穀豊穡を祈る御田祭。田人や牛飼、早乙女や牛、田つ女や礼の坊といった登場人物が狂言風に演技して、神に奉納します。



雪景色

冬になると時々、雪が舞い天野の里には雪が積もります。白一色の世界になり、とても綺麗です。



旬

干し芋、白菜、黒豆

冬の野菜もおいしいのが天野の里。寒冷な気候で栽培された野菜は糖度が高くおいしくなります。



史跡紹介

丹生都比売神社 にうつひめくみじや  天照大御神の妹神である丹生都比売大神（丹生明神）をまつ。その神領である高野山を空海は借り受けて真言密教の総本山を開いたとされ、高野山とのかかわりが深い。室町時代に建てられた本殿、楼門は国の重要文化財。平成16年に世界遺産登録。TEL0736-26-0102	貧女の一燈お照の墓 ひんによのいちとうおてるのはか  高野山奥の院に千年もの間消えることなく光輝いている「貧女の一燈」。その燈を納めたお照は尼になり天野に住んだとされる。この塚の上10mのところには、お照の実父母の墓と伝えられるものが残されている。	町石道 ちょういしみち  1町（109m）ごとに町石と呼ばれる石の道標が立つ高野山への参詣道。九度山の慈尊院から高野山の金剛峰寺まで180基の町石が立つ。平成16年（2004年）に丹生都比売神社とともに世界遺産に登録された。
二ツ鳥居 ふたとりい  空海が建てた鳥居。江戸時代初期に現在の石造りに改められた。昔から高野山への参詣者はここから丹生都比売神社に参拝した。	横笛の恋塚 よこふえのこいづか  平安時代末期、出家して女人禁制の高野山に登った斉藤時頼を慕い、横笛は天野に移り住んだが、再会を果たせぬまま病死したと伝えられる。	西行堂 さいぎようどう  西行と妻娘をしのんで建てられ、古くから高野山の僧や一般のお参りが多かったとされる。昭和61年に再建。堂の下に妻娘の墓がある。

お食事・産地直売所・宿泊施設

天野の里物産販売所 ようよって

天野で採れた高原野菜、米などを販売。うどん、コーヒーの軽食あり。

営業日 土・日・祝日
営業時間 9:00～16:00
電話 0736(26)0360



地域交流センター 簡易宿泊所「ゆずり葉」

地域交流センターおよび簡易宿泊所施設。自炊コーナーあり。素泊まり2,780円～

休業日 12/28～1/4
受付時間 9:00～16:00
電話 0736(26)0350
<http://yuzuriha.html.xdomain.jp>



パン&cafe 思季うらら

喫茶、軽食、天然酵母の自家製パンも販売。

営業日 日・祝日（夏・冬不定休あり）
営業時間 11:00～17:00
（16時オーダーストップ）
電話 0736(26)0237



山荘 天の里

カフェ、ランチ、ディナー
1泊（2食付）24,000円（税抜き）～

営業時間等 要問合せ
電話 0736(26)0753（要予約）
<http://amanosato.com/>



天野和み処 CAFÉ 客殿

天野米のお食事セット、ケーキセット、やき餅抹茶セット、ドリンク等。

営業日 金・土・日・月・祝日
営業時間 11:00～17:30
電話 0736(26)0372 冬季休業あり
<http://cafekyakuden.xyz/>



あまの凡愚

手打ちそばコース 2,500円、凡愚スペシャル 4,000円、あまのスペシャル 6,000円

営業日 木・金・土・日・祝日
営業時間 午前11時～午後3時
電話 0736-20-6800（予約優先）
<http://sobakiri-bong.com/>



アクセス

■公共交通機関をご利用の場合

- かつらぎ町コミュニティバス丹生都比売神社前行き
JR和歌山線笠田駅～丹生都比売神社前（終点）約29分
- JR和歌山線笠田駅からタクシーで約15分
- JR和歌山線妙寺駅からタクシーで約15分

■自家用車をご利用の場合

- 橋本方面から
国道24号を西進して「大野」交差点を左折。次の信号を右折して橋を渡る。つきあたりの県道13号を右折して約2キロ西進。県道109号に入り天野へ。
- 和歌山方面から
国道24号を東進。「笠田駅前」交差点を右折。国道480号に入り天野へ。

お問い合わせ

天野の里づくりの会（谷口方）

TEL 0736(26)0055 FAX 0736(26)0172
ホームページ http://www.katuragi.or.jp/amano_satodukuri/
e-mail chiaki55@maia.eonet.ne.jp
〒649-7142 和歌山県伊都郡かつらぎ町下天野 1072

世界遺産

四

季

ガ

イ

ド

天野の里

四

季

折

々

標高約450m自然豊かな里山には、四季折々の表情をのぞかせます。
見て美しい、感じて楽しい、食べて美味しい天野の里。
移りゆく季節をあなたも体験してみませんか？



稲刈り

秋になると稲穂が色づき、まばゆいばかりの黄金の世界になる天野の里。至るところで稲刈りが始まります。



秋

紅葉

自然に恵まれた天野の里。周りの山々が色づき、紅葉が楽しめます。丹生都比売神社の境内のみみじも、綺麗な色に変身します。



秋まつりと収穫祭

丹生都比売神社の秋祭り。天野の里に残るお餅まきが体験できます。天野の里づくりの会が催す収穫祭は、サツマイモ掘りを体験できます。



そばの刈取り

天野の里の気候は、そばの栽培に適しています。ここで収穫するそばはとても風味が良く、評判です。



旬

天野米

周りを山々で囲まれた天野の里。昼夜の温度差があり、甘くて粘り気があるとても美味しいお米です。その美味しさは冷めてもかわりません。「天野米」としてとても有名です。関西圏の遠い所からでも買いに来てくれます。



ハナモモ

4月に入る頃、ハナモモの丘の花が咲き始めます。300本もの木々が満開になると、とても綺麗です。ハナモモツアーで来られる方も居られます。(入場料：200円)



春

花盛祭

世界遺産登録された丹生都比売神社。その大きなお祭りの一つです。午後に行われる渡御の儀(お渡り)では、平安時代の衣装を身に付け、総勢60人もの行列が繰り広げられます。



バラ

バラの花は、5月～10月頃に咲きます。天野は、昼と夜の寒暖差が大きいので色が綺麗になります。日本のバラは平安時代には野生しており、源氏物語の中にも薔薇(さうび)として出てきます。また、丹生都比売神社との係りも古く、1454年の舞楽装束の袴の文様として、輪橋とともに刺繍されています。



旬

ほうれん草

天野の里で作られるほうれん草は、甘くて柔らかく、とても美味しいです。



企業のふるさと

伊藤忠商事(株)と提携して、米作りと景観保全活動を行っている「企業のふるさと」。130人もの人が集い、手植えの田植えや景観保全活動を体験します。



夏

ホタル観賞会

6月に入ると、天野の里を流れる川や谷川付近でホタルが飛び始め、中旬までの間、ホタルの乱舞が見られます。ホタル観賞会を開き、その幻想的な世界を体験していただきます。



森林浴

世界遺産登録された高野参詣道「町石道」をウォークすると、自然の中でマイナスイオンの世界に浸りながら森林浴を楽しめます。



金踊り

8月15日のお盆の夜、金魚すくいが終わってから賑やかに盆踊りが行われます。その休憩時に打ち上げる花火は、天野の里の夜空に舞い上がり、とても綺麗です。



旬

トマト、きゅうり、ナス

天野の高原野菜として知られるトマト、きゅうり、ナスは、甘くて柔らかくそれぞれの風味を保ち、とても人気があります。

